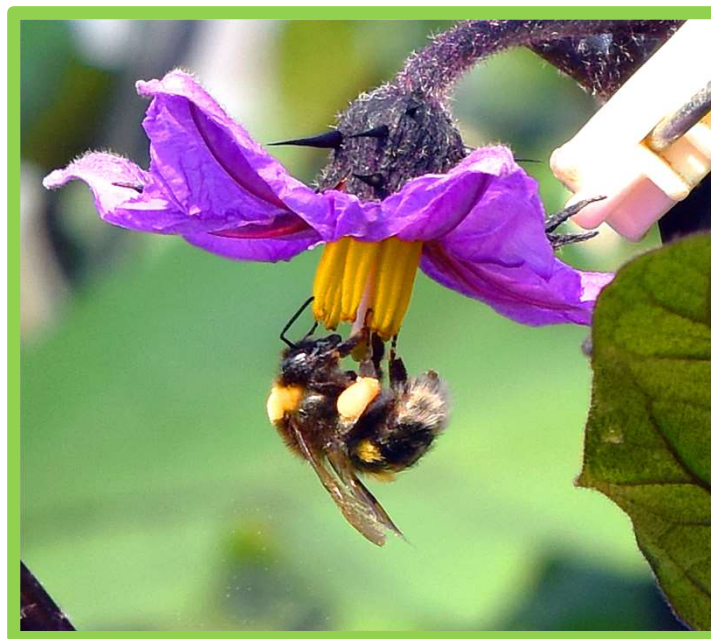


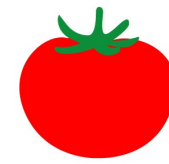
# 園芸産地における生産振興と 後継者の育成・確保

計画年度：令和6年～令和8年



東部農業事務所 桐生地域農業課

# 1 課題設定の背景と理由

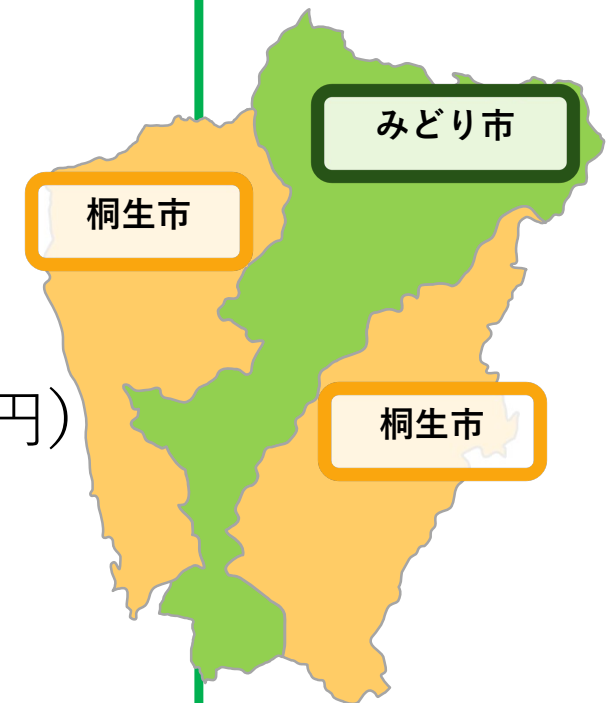


## 【産地の概況】

- ・群馬県の東部に位置し、**桐生市**、**みどり市**で構成
- ・農耕地は、平坦地から中山間地に分布、標高100～500m
- ・**施設園芸**は、**桐生市新里町**と**みどり市笠懸町**が中心
- ・耕作放棄地増加の予防として、**酒米生産**に取り組む

## 【各種データ】

- ・**経営耕地面積**（R6）  
田 595ha、畑 1,577ha（畑が約7割）
- ・**総農家数**：1,894戸（販売農家数：820戸）
- ・**農業産出額**（R4）：259.6億円  
（耕種：48.8億円、畜産210.8億円）
- ・**主要野菜品目**：ナス、キュウリ、トマト、  
ホウレンソウ、ブロッコリー
- ・**管内農協**：JAにったみどり



# 1 課題設定の背景と理由



## (1) これまでの取り組み～普及計画重点課題の変遷～

【平成27年～平成29年】

- ・「なす」産地のさらなる強化と担い手育成

【平成30年～令和2年】

- ・群馬県1位の「なす」産地を目指した栽培技術向上と担い手育成

【令和3年～令和5年】

- ・担い手の多角的な支援によるナス産地の発展

# 1 課題設定の背景と理由

## (2) これまでの取組み (サポートチームと啓発活動)



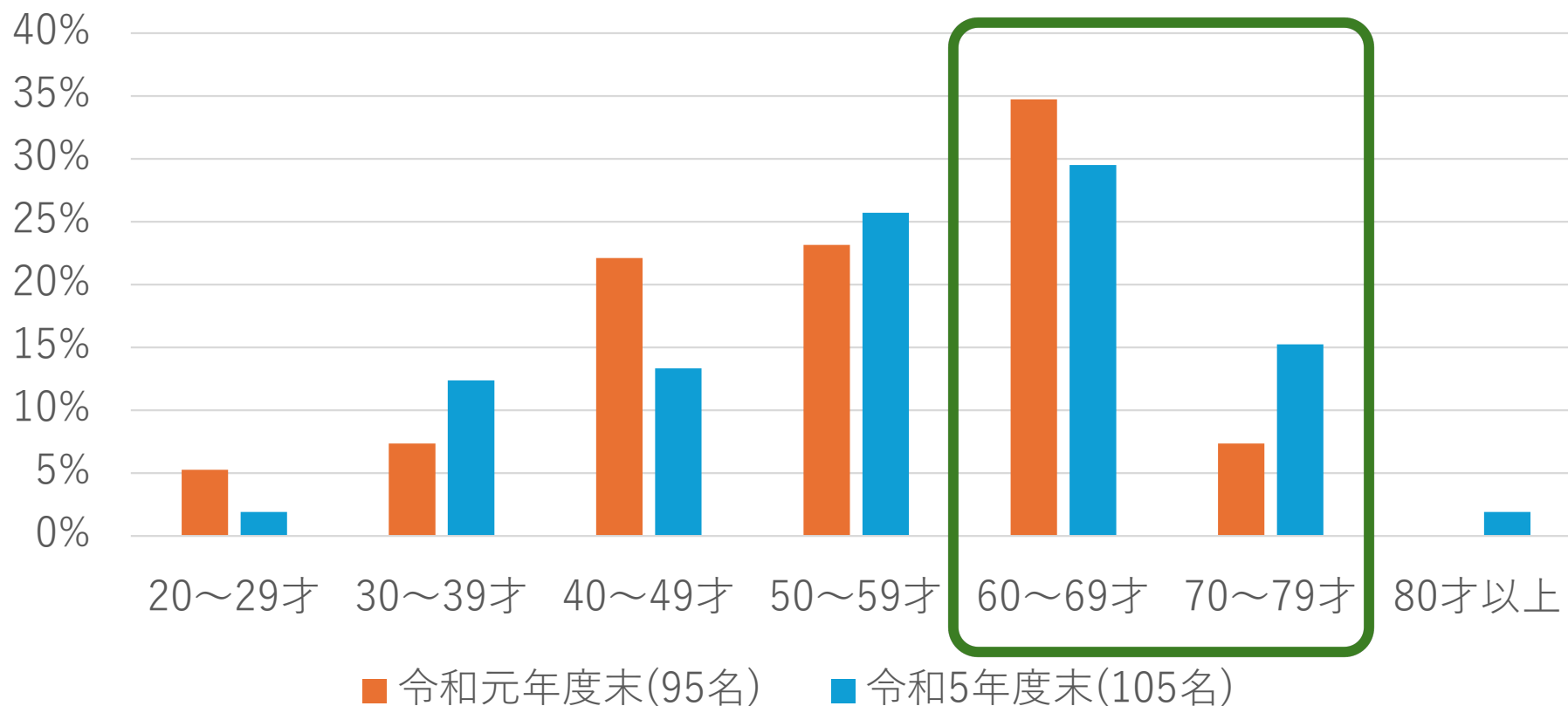
ナス紙芝居を用いた食育（啓発）活動



ナス新規栽培者に対する  
サポートチームの巡回指導

# 1 課題設定の背景と理由

## (3) ナス生産者の年齢構成（認定農業者）比較



60~69才の生産者の割合が高い  
70才以上の生産者が急減する



担い手対策は急務！

# 1 課題設定の背景と理由



令和6年～8年の地域重点課題の設定に際し、  
抽出した課題と具体策

## 抽出課題

- ・ 高齢化に伴う担い手減少
- ・ 燃料・資材等価格高騰による収益性の低下
- ・ 雪害後に再建した施設の老朽化（耐用年数経過）
- ・ 平坦地に加えて中山間地の農業をどうする…過疎対策















## 具体的な対策

- ・ 新規参入者の安定確保
- ・ 経験の浅い農業者の生産性向上による収益性の安定
- ・ 空きハウスの有効活用
- ・ 地域の実情に適した品目の振興



## 2 支援事項と解決手法



支援事項	主な活動	R6	R7	R8
1 就農相談から就農までの支援体制の充実	体制整備及び支援内容見直し 借受可能農地・機械等情報把握 新規参入希望者への情報提供 研修受入農家支援 就農希望者動向の情報共有	     		
2 新規就農者の早期経営安定支援	サポートチームによる巡回指導 農業基礎講座の開催 営農計画作成支援及び実績評価	  		
3 地域推進品目の生産技術習得支援	地域別振興品目の選定 講習会・研修会の開催	 		
4 企業的経営を目指す農業者育成	雇用管理・人材育成の支援 補助事業の活用支援	 		

### 3 到達すべき目標（目標年次の姿）

項 目	R 5 現状	R6 目標	R 8 目標	
就農支援組織整備数（組織）	1	2	2	桐生・みどり 両市に各 1 組織
認定新規就農者数（人）	2	2	2	毎年 2 名認定
45歳未満新規独立 自営就農者定着率（%）	100	100	100	過去 5 年雇用就農を 除く新規就農者の定 着率100%維持
J A ナス出荷量（ t ）	4,091	4,100	4,200	

### 3 年後の地域ビジョン（目指すべき姿）

就農希望者の受け入れが効率的に行れ、新規就農者が  
しっかり定着し、担い手が安定的に確保できている。



# 4 活動経過及び結果

## (1) 就農相談から就農までの支援体制の充実

- ・ **農業振興会議の開催（2回）**  
桐生みどり地域の農業振興上の課題共有
- ・ **就農支援体制検討会（2回）**  
認定新規就農者の認定と支援体制の検討
- ・ **就農相談会（6回）**  
市、農業委員会、JAと連携
- ・ **振興品目選定会議（3回）**  
ナス及び新規振興品目の検討
- ・ **就農計画審査会に向けた支援（3回）**  
**就農計画作成支援**、設備投資に関する助言等



**認定新規就農者となるために重要**

# 4 活動経過及び結果

## (1) 就農相談から就農までの支援体制の充実 エクセルを使った就農計画作成指導（独自フォーム）

計画書科目	対応する科目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	新規取得機械施設 減価償却費計算表					1	2	3
農業粗収入	販売金額	3,500,000	3,570,000	4,462,500	4,550,000	4,637,500	機械名	金額	償却率	購入年 (年目)	購入年 使用月数	減価償却費 1年目	減価償却費 2年目	減価償却費 3年目
原材料(肥料・農薬・動力・光熱・種苗等)費	種苗費	150,000	150,000	187,500	187,500	187,500	トラクター	2,500,000	0.143	1	6	178,750	357,500	357,500
	素畜費		0	0	0	0	動力噴霧器	600,000	0.143	1	6	42,900	85,800	85,800
	肥料費	240,000	240,000	300,000	300,000	300,000	包装機	4,000,000	0.143	3	9	0	0	429,000
	飼料費		0	0	0	0						0	0	0
	農業衛生費	160,000	160,000	200,000	200,000	200,000						0	0	0
	諸材料費	350,000	350,000	437,500	437,500	437,500						0	0	0
	動力・光熱費	300,000	300,000	375,000	375,000	375,000						0	0	0
	作業用衣料費		0	0	0	0								
	小計	1,200,000	1,200,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	耐用年数	償却率				221,650	443,300	872,300
							2年	0.500						
							4年	0.250						
							5年	0.200						
							7年	0.143						
農業 農具費・修繕費	農具費	120,000	120,000	150,000	150,000	150,000	取得済み施設 機械減価償却費							
	修繕費	2,000,000	2,000,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000								

- ・ 計画作りの効率化（認定審査までの期間の短縮）
- ・ 就農希望者の考えが具体化され理解しやすい

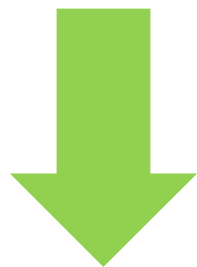
# 4 活動経過及び結果



## (2) 新規就農者の早期経営安定支援

ナス新規栽培者サポートチーム（R4年度発足）

- ・市、農業委員会、JA、桐生地域農業課で構成
- ・ナスの栽培経験が少ない農業者を支援



「**新規就農者等サポートチーム**」として  
**発展的に改組。**



- ・支援対象者に**新規就農者**を追加
- ・認定新規就農者のサポート  
**（経営開始資金交付対象者の支援も対応）**
- ・就農相談への対応も**チーム**で取り組む
- ・過去の就農相談者の動向確認し、共有

# 4 活動経過及び結果



## (2) 新規就農者の早期経営安定支援

### ①新規就農者等サポートチームによる支援

(現地巡回及び面談で3回)



現地の巡回指導



個別の面談

個別面談時に作成する目標設定シート (例)

中期目標 (5年後)	必要なこと	具体的な取り組み (目標)	達成 目標年	金額見積もり (千円)
雇用導入による 規模拡大	面積拡大、 品質向上	農地借入 販売単価10%上昇	1～5年	販売金額増加 1～2年目 200 3年目 2,000 4年目 3,000 5年目 4,000
	労働力確保	雇用導入	3年目～	雇人費 3年目 600 4年目 800 5年目 1,000
	機械の更新	機械の購入	3年目	減価償却費 300 (2,100÷7) (機械金額2,100)
	コスト削減 (農薬費の 削減)	使用量、購入先の 見直し	2～5年	2年目 -100 3年目 -150 4年目 -180 5年目 -200



# 4 活動経過及び結果

## (2) 新規就農者の早期経営安定支援

### ①新規就農者等サポートチームによる支援

達成 目標年	金額見積もり (千円)
1～5年	販売金額増加 1～2年目 200 3年目 2,000 4年目 3,000 5年目 4,000
3年目～	雇人費 3年目 600 4年目 800 5年目 1,000
3年目	減価償却費 300 (2,100÷7) (機械金額2,100)
2～5年	2年目 -100 3年目 -150 4年目 -180 5年目 -200

5年計画  
に反映



経営改善計画

勘定科目		取組内容を踏まえた予想値					
		R6実績(B) 金額(千円)	R 7 予想(D) 金額(千円)	R 8 予想 金額(千円)	R 9 予想 金額(千円)	R10予想 金額(千円)	R11予想 金額(千円)
収 益	1 販売金額	6,000	6,200	6,200	8,000	9,000	10,000
	2 家事・事業消費		0	0	0	0	0
	3 雑収入		0	0	0	0	0
	4		0	0	0	0	0
	5		0	0	0	0	0
収 入 計		6,000	6,200	6,200	8,000	9,000	10,000
原 材 料 費	8 種苗費	変動 300	300	300	420	450	540
	9 素畜費	変動 0	0	0	0	0	0
	10 肥料費	変動 230	230	230	322	345	414
	11 飼料費	変動 0	0	0	0	0	0
	12 農薬衛生費	変動 340	340	340	476	510	612
	13 諸材料費	変動 510	510	510	714	765	918
	14 動力光熱費	変動 360	360	260	354	360	448
	15 作業田水利費	固定 200	200	200	200	200	200

※支援対象者からの意見（抜粋）

- ・ 目標所得を達成するために**必要な売上が明確**になった。
- ・ 露地から施設への**転換の有利性**がたいへん参考になった。
- ・ **雇用導入の適した栽培面積**が理解できた。

目標を達成するために、何をすべきかの理解度が向上。

# 4 活動経過及び結果

## (2) 新規就農者の早期経営安定支援

### ②農業基礎講座の開催（年3回）

年次ごとの講座内容

- ・ナス現地研修
- ・農薬（作用機構、RACコード等）
- ・土づくり（主要肥料成分とその働き）

翌年



- ・ナス現地研修
- ・農薬（代表的な病害虫とその対策）
- ・土づくり（土壌分析と施肥計画）

翌年



- ・ナス現地研修
- ・農薬（農薬取締法、食品衛生法等）
- ・作業機メンテナンス方法

翌年



どの年から受講しても、  
3年1サイクルで必要な情報が、すべて得られる仕組み



# 4 活動経過及び結果

## (2) 新規就農者の早期経営安定支援

### ②農業基礎講座及び新規就農者交流会（1回）の開催



農業基礎講座の様子  
（露地ナスほ場で支柱立ての実習）



農業経営士、農村生活アドバイザー  
を交えた新規就農者交流会

**新規参入者、Uターン就農者が基本的知識を得る有効な機会  
となっている（聞きたいことを聞ける雰囲気づくり）**

# 4 活動経過及び結果

## (3) 地域推進品目の生産技術習得支援（露地ナス）

- ・栽培講習会（1回）現地研修会（3回）
- ・支援対象者（6名）の定期巡回（5～10月、月1回）
- ・栽培終了後の反省会（1回）



定期巡回



栽培反省会

**栽培技術・経営向上に向けた意欲の上昇！  
特に支援対象者の単収 5 t /10aを達成(目標4.5 t)**



# 4 活動経過及び結果

## (3) 地域推進品目の生産技術習得支援（中山間地域）

- ・ アスパラガス栽培講習会及び現地研修会開催（各1回）
- ・ アスパラガス採りっきり栽培モデル地区設置（2カ所）
- ・ 鳥獣害対策情報提供（9回）



栽培講習会



アスパラ現地研修会（モデル地区）

**アスパラ「採りっきり栽培」生産者増加！**

**R6年 3名→R7年 9名＋普通栽培2名（目標10名）**

**中山間地域の栽培品目の一つとして定着に期待**

# 4 活動経過及び結果

## (4) 企業の経営を目指す農業者育成 ～雇用導入や機械導入に必要な知識の習得～

雇用管理研修会（経営者から労務管理を学ぶ 1回）

経営改善研修会（補助事業に関する注意点を学ぶ 1回）

（成果目標 延べ参加者数30名：実績41名）



雇用管理研修会



経営改善研修会

参加者からの意見（抜粋）

- ・ 従業員に長く働いてもらえる環境づくりが参考になった
- ・ 機械導入について相談したい

# 4 活動経過及び結果

## 令和6年度実績まとめ

項 目	R 5 現状	R 6	
		目標	実績
就農支援組織整備数（組織）	1	2	2
認定新規就農者数（人）	2	2	4
45歳未満新規独立 自営就農者定着率（%）	100	100	100
J Aナス出荷量（t）	4,091	4,100	4,153

- ・ 桐生市とみどり市とでサポート体制を整備した
- ・ 認定新規就農者は、桐生市、みどり市から2名ずつ認定
- ・ 45歳未満新規独立自営就農者はすべて定着した
- ・ ナス栽培技術の重点指導により生産量の底上げが実現

## 5 残された課題と今後の対応

### 残された課題（令和6年度を終えて）

- ・ サポートチームによる研修受入体制整備
- ・ 空きハウスの有効活用
- ・ アスパラガス販路の安定確保

### 今後の対応（令和7年度以降）

- ・ サポートチーム運営会議を定期的に行い、情報の共有に努め、就農希望者のニーズに迅速に対応する。
- ・ アスパラガスを平坦地にも普及し生産量確保により、系統出荷・有利販売に結びつける。



ご清聴ありがとうございました